

市指定

所在地：曾地中

どうなかこふんいちごう

洞中古墳一号

古墳時代後期（6世紀）に築造された、横穴式石室を内部主体とする円墳である。近接する二号墳より新しい時期の古墳で、墳丘径が30m、高さが4mを測る。

石室は西方向に開口し、両袖式で巨石を利用した丹波地方最大級の石室を持つ。

